

CHARTERED
MAY 4, 1980



福岡中央 FUKUOKA CHUO



福岡中央ワイズメンズクラブ ブリテン 2015年6月1日発行 URL <http://www.fukuchu-ys.com/>

2015.6

会長 主題

若者とともに働く、未来へ
Work with Youth for the Future.



会長 伊藤 和行

今月の聖句

わたしは彼らにみ言葉を伝えましたが、世はかれらを憎みました。わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないからです。わたしがお願ひするのは、彼らを世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないのです。真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたのみ言葉は真理です。わたしをお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました。彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。

(ヨハネによる福音書 第17章14-19節)

解説：ヨハネによる福音書の第17章は、「イエスの祈り」と言って良いでしょう。イエスは、祭司長たちや、ファリサイ派の人たちによって訴えられ、逮捕され、裁判で死刑の判決を受け、十字架の刑に処せられ、間もなく、弟子たちの前から去って行くことを預言されますが、自分が去った後の弟子達のことを気にされて、戸惑う弟子たちのことを思い、彼らのために祈されました。そして復活されたイエスは弟子達の前に現れて「あなたがたに平和があるように」と言われました。この「あなたがたに平和があるように」ということは、イエスの生前の宣教の重要な指示事項でありました。イエスが最も望んでいた「主にあっての平和」シャロームがありました。

壹岐 裕志

今期は、「若者とともに働く、未来へ」を会長主題として掲げ、スタートを切りました。前半には堀田直前会長の遺産とも言うべき2名の入会者を得ました。7月に入会された井上匡広メン、圭子メネットと9月に入会された坂本毅メン、有紀メネットです。2つのカップルが入られたことでクラブは若返り、活力を与えられました。また10月に開催したEMC例会「音楽の夕べ」はメン14名、メネット6名、コメット3名、ゲスト34名、総勢57名の参加を集め、すばらしいEMC例会になりました。11月に行われた福岡中央、北九州、博多オーシャン3クラブ合同例会は、博多オーシャンの12月解散により最後の3クラブ合同例会になりました。11月16日には第5回福岡YMCAチャリティーランが開催され、福岡中央クラブは宣言タイムレース1チーム、ファミリーパフォーマンス1チームが参加しました。1月の第2例会には15名ものメンバーが集まり、後半のクラブ例会プログラムが話し合われました。2月の「留学生を囲む会」、4月の「35周年記念例会」、また5月の「大野嘉宏元理事（京都パレス）」を招いて、クラブを活性化するために視点を変えてなどの例会です。35周年記念例会には、故杉山龍丸ワイズのご子息を迎えて記念講演をしていただきました。これらの例会をつうじて今後のクラブ活動を考える機会が与えられました。今期最後はボランティアーダー歓迎例会となり、会長主題を締めくくるにふさわしい最高の例会になりました。

6月の予定 PLAN OF JUNE

第1例会：6月11日（木）
18:30～21:00
会 場：ホテルセントラーザ博多
内 容：リーダー歓迎例会 ドライバー齊藤
卓話者 坂本 毅 ワイズ
「内モンゴルでの植林活動」

第2例会：6月25日（木）
18:30～20:30
会 場：福岡YMCA 天神校
☎092-781-7410

5月のデータ DATA OF MAY

●5月在籍者：17人 第1例会 第2例会
メンバ 11名 10名
メネット 4名 3名
ゲスト 2名 0名
ビジター 0名 0名

●5月出席率： 64.7%
5月14日（木） 第1例会
5月28日（木） 第2例会

今月までのファンドの状況

FUND	ファンド
5月 第1例会	20,000円
第2例会	0円
累計	87,838円

福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国際会長 主題 Isaac Palathinkal (India) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

アジア地域会長 主題 岡野 泰和（大阪土佐堀） "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

西日本区理事 主題 松本 武彦（大阪西） 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"

九州部部長 主題 亀浦 正行（熊本にし） 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

"Y's sprit, from you to me and from me to you for generations!"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈 1-10-10 092-831-1771

1-10-10, Nanakuma Jyondan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN

5月例会報告

伊藤 和行

5月例会はメン11名、メネット4名、ゲスト4名が出席しました。今月の企画は1月の第2例会で提案されたものです。4月の「35周年記念例会」と今月の「大野嘉宏元理事を招いて」は特別に予算を立て、何度も第2例会で話し合われました。

ゲストは大野嘉宏さん（京都パレス）、中野美穂さん（福岡YMCAスタッフ）、岡崎健さん、小樋井洋さんです。小樋井洋さんは7月での入会が宣言されました。小樋井さんはボランティアリーダーのOBでリーダー達のネットワーク作りに苦心されている

そうです。

司会は岡ワイスが務められました。大野嘉宏元理事の紹介を中村ワイスと岡ワイスにしていただきました。大野元理事は「クラブを活性化するために視点を替えて」と題して、講演されました。まず各ボランティア団体の歴史を示され、御自身のワイスメンズクラブとの出会いを述べられました。クラブの本質とは親睦にあると言われ、①親睦とはクラブ員同士が欠点をあげつらわない、②意見の違う人を認める、③たえず向上していく、自己研鑽の場であると言われました。また、生涯自己成長していく場であるともいわれました。多くのメンバーがあらためて自分とクラブとの関係を考える機会を得られたのではないでしょか。



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

小田 知恵美 ODA, Chiemi 6月19日生まれ

ほとんど顔を出せていないのですが、私も精一杯、生活を送るために頑張ってま～す！
最近、物忘れがひどくなってきたように感じ、明日が不安です…。



壹岐 桃志 IKI, Hiroshi 6月20日生まれ

後期高齢者とイヤな呼び名が付けられて、車の免許更新で更新前に講習を受けなければならない上、認知症のテストまであるのに憤慨しています。確かに年寄りであることは否定しませんが、まだ明日があるよという希望は持っています。「新年齢層」とでも呼んで欲しいですね。

中村 順子 NAKAMURA, Jyunko 6月22日生まれ

人生の終わりのときへ（老衰末期）と向かっている母に、この母から生まれて76年目の誕生日を一緒に迎えられる事に、ここから「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。誕生日を、これほどまでに母への感謝の思いで迎えるのは、初めてであり、最後になりそうです。終焉のときをいい日にしてあげたいとこころから願っています。

中村 直子 NAKAMURA, Naoko 6月28日生まれ

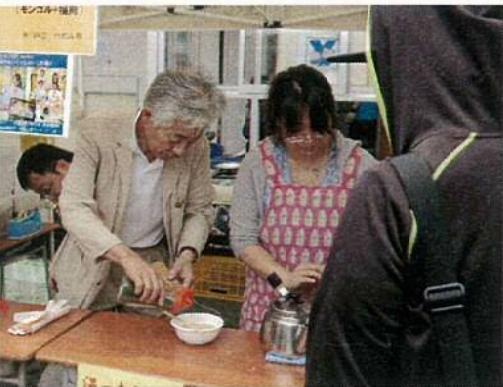
お誕生日おめでとうございます！ 子育てが大変だと思いますが、ぜひぜひ時間があるときは遊びにきてくださいね！

●第36回 YMCA 祭開催

天候が危ぶまれていた5月31日(日)、見事に五月晴れの下YMCA祭が開催されました。ワイズからは坂本さんご夫妻(バンベンさん)のラーモン、ホールの方では松井さん、堀田さん、草場さん、大浦さんによる着物着付けがおこなわれました。その他多くのワイズにご協力、ご参加いただき心より感謝申し上げます。

ラーモンは早々に売り切れ、着付けも留学生が殺到し大反響でした。本当に皆様ありがとうございました。来場者も200名ほどと、昨年度よりも多くの方に来ていただいたのではないかと思います。

益金はネパール大地震の被災者支援を中心、リーダー育成、留学生支援等に使われます。



◆リーダー・スタッフ紹介コーナー



今年の1月からサッカープログラムスタッフとして頑張っている木原克明さんを紹介します。実は私がサッカー指導をしていた頃、彼がYMCAサッカーのメンバーでした。メンバーが指導者として帰ってきてくれることは本当に嬉しい事です。(奥村洋充)

数年、非常勤講師としてサッカーの指導をしてきましたが、晴れてスタッフの仲間入りをさせていただきました。私はこれまで幼稚園生・小学生・中学生と指導してきました。その経験を活かし、子どもたちのため、YMCAのため尽力していきたいと思います。

～入職まで～

私は、小学生のころYMCAでサッカーをしていました。その期間はとても楽しく今でも記憶に残っているほどです。そして専門学校を卒業後、当時のリーダーと連絡をとつてみると『指導者に興味ある?』この一言がYMCAに入職した一番の要因ではないかと今は思っています。

その後様々な人の助け・縁によりこの福岡YMCAを紹介していただきました。私が子どものころ楽しかった環境を今の子どもたちにも与えてあげたいと思い入職することとなりました。

～YMCAスタッフとして～

今後は社会人・指導者、そして何よりも人として成長したいと考えております。リーダーと名前のつく様に子どもたちの模範であり、何でも話せる近い存在であり、子どもたちの背中を押してあげる存在になりたいと思います。

年末街頭募金については東日本大震災被災者への募金活動もありましたが、そこにネパールの学生は参加し、街頭で募金を叫んでくれました。今度はこちらがその恩返しをするときかもしれません。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



HAPPY ANNIVERSARY OUR FRIENDS!!

壹岐 裕志・絢子 Hiroshi ♥ Ayako 6月28日 ??周年！ オメでとうございます！

昨年私達は金婚式を迎え、記念の旅行をしました。お互いによくもここまでつきあう事が出来たと感心するくらい長長いお付き合いです。裕志の誕生日6月20日と絢子の誕生日5月28日を組み合わせて、結婚式の日を定めた若き日が懐かしいです。

第2例会報告 5月28日

出席者 壱岐 伊藤 大浦 大浦京子 奥村 草場 草場みちこ 齊藤 坂本 坂本有紀 中村 堀田 松井

6月 ボランティアリーダー歓迎例会 ドライバー 齊藤皓彦さん リーダーの参加者を6月5日までに連絡をもらう。

会費 いつもの通り 若干のアルコールを用意する

プログラム内容

卓話 「内モンゴルでの植林活動」坂本さん ワイズメンズクラブの紹介 齊藤さん
リーダーの出しもの 手作りの「ブックカバー」をメネット会がプレゼント

プリテン原稿 5月例会報告 岡さん 誕生日 小田知恵美・壹岐裕志・中村順子・中村直子さん

結婚記念日 壱岐裕志・絢子さん

YMCA 祭の件 坂本さん出店のブースをメンバーが手伝う

浴衣着付けの協力をする。(松井、堀田、草場、大浦)

韓国人慰靈碑訪問は6月27日に決定 車提供 壱岐、大浦、草場

ネパール災害募金は6月例会でのニコニコ献金を充てることになった。

ファンド状況の報告があった。

次年度の活動計画案が了承された。

今後、他クラブの5年単位の周年事業には参加せず、お祝いのメッセージだけを送ることに決定した。

第2例会では行事の打ち合わせだけに終わらず、様々な有意義な話をすることに合意した。



ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 12] 2015年6月1日発行

2014~2015 西日本区理事 松本 武彦

主題「響き合い、ともに歩む」

"To walk together, echoing each other."

こころ豊かにワイズ活動を展開し、
ワイズスピリットをつないでゆく

今期は、ファンド事業を交流事業に合体させるとともに、広報事業を継続性のある委員会制度とした「5事業1委員会制度」に基づき事業活動を進めてゆくスタートの年がありました。交流事業とファンド事業を合体した国際・交流事業については、これまでの2つの事業活動を生かしながら活動を展開してゆけることが確認できました。ただ、「国際」なる名称をもつことで、国際にからむ諸事項への対応については今後、組織的対応を含めて考慮してゆくことが必要かと感じています。

理事通信3月号でお知らせしました国際新事業

「STEP For All」はTOF事業の支援・理解を意図しての事業であることから、今後はTOF事業を管轄する地域奉仕・環境事業部門が担当することになりました。会員増強に向けて立ち上げられた西日本区2000推進チームは、実質8年間に及ぶ働きを各部ごとの会員増強組織に委ねるため、今期をもってその活動を閉じます。これまでお働き下さったチームのみなさまのお働きに感謝します。理事GOALを目標とする献金は、東日本大震災被災支援に向けての献金の額が少し低いほかはほぼ例年並みであります。現在、YMCA東山荘100年募金とネパール大地震被災支援募金にかかるYMCAからの呼び掛けにお応え下さるよう、西日本区のみなさまにお願いしています。

今期の事業活動におけるトピックスとして、①各クラブから提出して頂いたYSA事業報告からクラブのみなさまがYMCAサポートを大いに楽しんでいることが確認できたこと、②各クラブで実践する地域奉仕活動を他クラブも応援し共有するために部単位で各クラブの活動状況を報告する場を設けてクラブ相互の情報共有を図るようにしたこと、③今期から始まる部ごとの会員増強推進チームの動きについてみれば、初年度ということもあってか、活動されている部と思うような活動ができるいない部があること、④台湾区と東日本区にそれぞれ所属するクラブ同士のIBC締結はあるが、この締結実現のために西日本区に所属するクラブの働きが大きく貢献したこと、⑤メネット事業について多くのメンにもご理解頂きメネットとともに支え頂いたこの1年ではありました。活動下さるメネットの数の減少と高齢化などの実態を考えると、メネット事業のあり方について考えるべき時期がきているのではないかと思われること、などが挙げられます。

日本ワイズメンズ運動発祥の地、「大阪」で、いま、ワイズメン・メネットが交わり、響き合い、楽しむことで、ここを新たにしてワイズメンズ運動を開拓するきっかけを作りたい、というのが今回の第18回西日本区大会開催への私の思いであります。みなさま、大阪ベイエリアで“交・響・楽”を奏で、私たちの力をワイズメンズ運動の明日につなげましょう。

ともあれ、みなさまからのこの一年間の温かなご支援・ご協力にこころから御礼申し上げます。ありがとうございました。